

豊作願い早乙女手植え

新嘗祭献上のコメ

鬼北の水田 北宇和高生6人参加

早乙女姿で丁寧な苗を植える北宇和高生ら



に選ばれた。

式には同JAや地元の関係者らが出席。北宇和高校の3年生6人が早乙女の装いで約10畝の水田に入って横一列に並び、苗を3×5本ずつ手に取って植えていった。兵頭咲羽さん(17)は「緊張したが、しっかり育ってほしい」と思いを込めた」と話していた。

秋の宮中行事「新嘗祭(にいなめさい)」に献上するコメのお田植え式が30日、鬼北町西野々の水田であり、早乙女姿の地元高校生が豊作を願って丁寧に苗を手植えた。

新嘗祭は毎年11月23日、天皇陛下がその年に全国各地で収穫され

たコメや野菜を神に供え、自らも食べて農作物の恵みに感謝する儀式。県では12地区が持ち回りでコメ1升とア

ワ5合を献上しており、今年はJAえひめ南管内が担当で、藤城英秋さん(75)＝同町西野々＝がコメの献穀者

(木俣寛太)